

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p>
座長	<p>2 委員挨拶（資料1）</p> <p>本日議長を務めさせていただく齋藤です。2年ぶりの開催となり、熱心な議論をよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思います。まず、次第の3「報告事項」（1）令和5年度の自立支援協議会について、資料3に基づき各部会より報告をいただきたいと思います。</p> <p>それでは「こども部会」水野部会長お願いいたします。</p>
水野部会長	<p>（資料2のとおり読み上げて報告）</p>
座長	<p>報告内容の補足について、こども部会の各委員よりお願いいたします。</p> <p>なお、「市内の放課後等デイサービス事業所の集まりがあったと思うが…」と記載がありますが、そのような集まりがあるのでしょうか。</p>
溝井委員	<p>以前は、児童発達支援と放課後等デイサービス支援を提供する「ハッピー川越」の方が取りまとめを行い放課後等デイサービスの連絡会が開催されていまして。しかし、コロナ禍によりここ数年開催されていない状況です。</p>
溝井委員	<p>市内の放課後等デイサービス事業所は、約70事業所あり、約700名の利用登録がされています。しかし、児童の障害福祉サービス（児童発達支援や放課後等デイサービス等）は、者の事業所ほど横のつながりはなく、個々に合わせた支援方法についてノウハウが少ない状況です。</p> <p>そのため、コロナ前に開催されていた連絡会の他に、今後は、者の事業所（生活介護や就労継続支援（B型）等）と連携することにより、支援の質の向上を図られたいと考えています。</p>
金澤部会長	<p>「仕事・活動部会」では、放課後等デイサービス等を利用していた方が、「(学校を卒業し福祉的就労をした後に、)同様の</p>

	<p>サービスがなくて困っている」という話をよく聞きます。福祉的就労では学校よりも帰宅時間が早くなるケースも多く、例えば、共働きの家庭で両親の帰宅時間まで一人で過ごすことが困難なケースや、重度障害のため保護者の負担が大きいケースなどが考えられます。放課後等デイサービスの主な目的はどういった理由が大きいのでしょうか。</p>
溝井委員	<p>放課後等デイサービスは、主に、18時半頃まで児童を預かる、往復の送迎もついたサービスです。そのため、就労されている家庭の受け皿となっています。</p> <p>現在、最大20歳まで利用が可能なサービスとなっています。しかし、年齢に応じた課題は異なるため、(児童発達支援と放課後等デイサービスを併設する事業所で) 幼児と同じ空間で支援が提供されていることは、健全な支援状況とは言い難いのではないのでしょうか。そのため、年齢に応じた支援が行えるような環境が整えられたらと考えます。</p>
座長	<p>利用していた事業所から、「うちの事業所は学齢期のみの受け入れだから…」と言われても、それまで利用していた保護者戸惑ってしまうでしょうね。</p>
金澤部会長	<p>学童保育室と放課後等デイサービスの連携はありますか。</p>
溝井委員	<p>両親が就労している家庭では、学童保育室と放課後等デイサービスを使い分けているケースがあります。放課後等デイサービスが、行きは学校に迎えに行き18時半まで支援した後、学童保育室に送り届け、両親は19時の閉室前に学童保育室へ迎えに来るといった具合です。</p>
座長	<p>放課後等デイサービスについて、こども部会でも検討いただく必要があるのではないのでしょうか。</p>
溝井委員	<p>こども家庭庁がまもなく設置されますが、市町村にはまだ具体的な情報等降りてきていない状況のようです。</p>
座長	<p>障害児通所支援や障害者手帳の申請窓口はどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>こども家庭庁の設置に伴い庁内でも議論されているところ</p>

	<p>ですが、障害児通所支援や障害者手帳の申請窓口はこれまでと変更はございません。</p>
座長	<p>障害者手帳は障害者福祉課、障害児通所支援は療育支援課と分かれているのは、保護者にとっては分かりづらいですね。</p>
溝井委員	<p>医療的ケア児の相談窓口として、先日（令和5年1月25日）、（福）埼玉医大福祉医療型障害児入所施設「カルガモの家」が埼玉県から受託し、「医療的ケア児等支援センター・地域センター」が開設されました。</p>
座長	<p>ありがとうございました。他に意見はございますか。 無いようですので、次に、「まちづくり部会」菊本部長をお願いいたします。</p>
菊本部長	<p>（資料2のとおり読み上げて報告）</p>
座長	<p>報告内容の補足について、まちづくり部会の各委員よりお願いいたします。</p>
委員	<p>（特に意見等なし）</p>
座長	<p>次に、「仕事・活動部会」金澤部長をお願いいたします。</p>
金澤部長	<p>（資料2のとおり読み上げて報告）</p>
倉橋委員	<p>余暇活動に係るアンケート結果につきまして報告いたします。アンケート項目は、「障害者手帳の有無」、「外出頻度」、「外出時の同行者」、「主な外出先」、「希望する余暇活動」、「卒業後の余暇の希望の有無」についてです。 「外出の頻度」につきまして、障害の程度に係らず家庭の状況によることがわかりました。 「外出時の同行者」は、主に家族でした。なお、療育手帳B、Cの児童は、近場であれば単独外出が可能であるケースが多いことがわかりました。 記述式の回答では、放課後等デイサービスに関する質問が多く、特に重度障害のある子をもつ保護者から、「家にいる時間が長くなると親の負担が増えることが課題である」、「保護者が送迎しなければならぬのは大変」などといった意見が多く見</p>

	<p>られました。</p>
金澤部会長	<p>長い青年期を楽しむ場や時間がないことは課題であると考えています。</p> <p>文部科学省から、重度障害者の生涯学習の指針が出されました。20歳まで学べる場を伸ばしましょうという提案がなされています。それを福祉の中でどのような形で実現できるかが課題であると思います。福祉事業型専攻科が作られるとよいのではないのでしょうか。</p>
座長	<p>コロナをきっかけに外出の希望が少なくなっているのでしょうか。</p>
金澤部会長	<p>「外出したくない」という理由に、「ゆっくりしたいから」、「行きたいけど様々な理由により実現できない」、「行きたいところがない」等様々な理由が考えられます。今回のアンケート調査では、そこまで落とし込むことはできませんでした。</p>
倉橋委員	<p>「土日はゆっくりしたい」という意見も多かったです。</p>
座長	<p>意思表示のできない障害者の方の中には、家族等の意向により福祉サービスを利用しているが、ご本人の意向に沿っているとは限らないというケースがあるかもしれないですね。</p>
金澤部会長	<p>以前、「であいえ」というイベントを企画・運営したことがあり、水沼相談員から説明をお願いします。</p>
水沼相談員	<p>パン屋さんの一角を借りたお茶会や公園で遊ぶ等、友人や恋人がほしいという障害のある方が気軽に集まることができる「であいえ」というイベントを数回企画・運営しました。</p>
金澤部会長	<p>皆さん非常に良い笑顔が見られていました。今後、「ほっと一息」というキャッチフレーズを入れて、また開催したいと考えています。</p>
座長	<p>川越市は、社会福祉協議会や公民館が開催するものがあり参加しやすいのではないのでしょうか。</p>
倉橋委員	<p>「外出の同行者」は、両親と回答した方が多く、友人と回答</p>

	<p>した方は少なかったです。</p>
座長	<p>「家族ばかりではなく、友人等と外出したい」と話す障害者の方も多いように感じます。</p>
溝井委員	<p>重度訪問介護でヘルパーと外出するケースもありますが、ヘルパーの数が少なく夜間支援が難しい状況もあり、実現は容易ではありません。</p>
座長	<p>他に意見はございますか。無いようですので、最後に、「地域移行部会」斎藤部会長お願いいたします。</p>
斎藤部会長	<p>(資料2のとおり読み上げて報告)</p>
座長	<p>コロナ禍により短期集中型の支援方法がでてきたということですが、樫村委員から意見ををお願いします。</p>
樫村委員	<p>コロナ禍により医療機関へ訪問することが困難な状況となりました。そのため、病院から依頼を受け、移行支援を実施してきました。</p> <p>直近の複数の事例を通し、障害特性等により短期集中型でも可能なケースがあることが分かりました。また、コミュニケーションや意思決定が困難な方には、ピアサポーターの介入が有効であることが分かりました。さらに、医療機関の協力なくしては退院までの支援につながらないと感じました。</p>
座長	<p>グループホームの件数が増えたのはよかったです。計画相談の不足が本市の大きな課題と言えます。他市から市内のグループホームに入居した方の計画を、市内事業所が不足していることから、援護市町村の計画相談支援事業所が担当となっているケースがあります。事業所が遠方のため、適切な管理・支援が実施されるのか心配な状況であります。</p> <p>また、質的な問題があると聞きます。なお、開所してまもなく撤退する事業所もあり、その理由等について精査できていない状況です。</p>
斎藤部会長	<p>グループホームに限った話ではないですが、障害者の状態が安定していれば問題とはならず、何か問題や課題が表出した際に、その責任を押し付け合うような印象があります。</p>

座長	川越市として計画相談支援事業についてどうしていくのか、計画的に取り組んでいかなければならないと考えます。
斎藤部会長	企業系も連携がとりやすい関係を作ればと考えます。
菊本部会長	鶴ヶ島市は、就労継続支援（B型）とグループホームの連絡会がそれぞれあり、自立支援協議会が運営を取りまとめています。しかし、規模も違うことから、本市が鶴ヶ島市と同様に実施するというのは困難であると思われます。連絡会等の運営のあり方も探る時期ではないでしょうか。
座長	今後、地域定着支援にも重きを置いて検討していくことも必要かもしれません。
金澤部会長	グループホームでも休みの日に支援できる人がいない状況が見られますが、支援体制が整っていないと、例えば週末に問題が生じた際、入居者が勝手にホームを飛び出してしまう等のトラブルが起きることもあるのではないのでしょうか。
座長	企業だと撤退してしまうことがあり得ます。目配りしていかなければいけないのではないのでしょうか。
金澤部会長	そのあたりは行政が目を光らせてほしいです。
座長	ありがとうございました。他に意見が無いようですので、次第の4「議題」（1）令和5年度の自立支援協議会について、資料3に基づき事務局よりお願いします。
事務局	（資料3のとおり読み上げて報告）
座長	この件につきまして、ご質問、ご指摘、ご提案などはございますでしょうか。 ないようですので、次第の5「その他」に移らせていただきます。溝井委員より、配布資料についてご説明をお願いいたします。
溝井委員	世界自閉症啓発デーのイベント開催のご案内です。特別基調講演として、金澤部会長にもご出演いただく予定です。

	<p>また、市内の福祉事業所による出店もごございます。ぜひご来場いただけたらと存じます。</p>
溝井委員	<p>最近相談を受けたケースについて報告させてください。 先日、化学物質過敏症のお子さんの相談を受けました。衣類の柔軟剤のにおいにも反応し、吐き気や頭痛などを感じるため外出もままならないというお子さんでした。シックハウス症候群などのアレルギーとも異なり、障害や病気、難病にも当てはまりません。そのため、福祉的な支援を受けられない状況にあります。</p>
座長	<p>他にご意見等ごございますか。 ないようですので、議題につきましては全て終了とさせていただきます。ありがとうございました。それでは、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>齋藤会長、議事進行ありがとうございました。 事務局より事務連絡を申し上げます。</p> <p>次年度につきましては、委員改選の年度となります。 令和5年度以降の委員の編成につきましては、現在、検討しているところでございます。</p> <p>また、委員の選任につきましては、協議会における協議事項等を勘案して、令和5年4月以降に、電話連絡や郵送等の方法により、個別にご連絡差し上げたいと考えておりますので、御理解ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、本協議会が未開催であることにより、大変なご不便をおかけした2年間ではございましたが、委員の皆様方には、協議会の活動に多大なるお力添えをいただきましたこと、誠にありがとうございました。今後とも変わらぬ御支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和4年度第2回川越市地域自立支援協議会全体会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>